

NPO法人みんなダイスキ松山冒険遊び場

プレーパーク

森のようちえん

久万高原サマーキャンプ

中島サマーキャンプ

みんなのひろばわいわい

駄菓子場まさおかし屋



自然の
中で

みんな一緒に
遊ぼうよ!!!



25号

とも☆たく
通信

久万高原 サマーキャンプ

久万高原の自然の中で、遊んで学ぶ!

P.12

もり 森の ようちえん

小さい頃から、外遊びの楽しさを体験!

P.6

松山総合公園 ア・V・パーク

外で思いっきり遊ぶ!おもしろい体験がいっぱい!!

P.3

駄菓子場 まさおかし屋

駄菓子でつながる世代を超えたつながり。

P.21

みんなのひろば わいわい

子どもに寄り添う、近所の居場所づくり。

P.20

中島 サマーキャンプ

海で遊びながら、仲間と大事な時間を過ごす!

P.14

団体概要・沿革

会員募集

…ご協力いただける方を、随時募集しております。



P.22

コラム

久万高原 ダイスキ!

P.18



P.16

外遊びが 必要なワケ

P.8

NPO法人みんなダイスキ松山冒険遊び場

代表 山本良子(やまもとよこ)

「自然と共に生きる感覚を育む」
私は愛知県の一宮というところで一人っ子として生まれました。私が生まれたところはすでに上下水道が整備され、商店街や住宅がたち並んでいて自然はほとんどなく、自然を感じるためには電車で1時間ほどの岐阜の郊外まで出かけるなければいけませんでした。母は山が大好きで、毎週末一番近い金華山に登山に連れて行ってくれました。でもその頃の私は山も自然も好きではありませんでした。レストランで食事をするのが夢で、ジュースを買ってもらうために山に登り、ジュースを買ってくれないと文句ばかり言いながら山を歩いた思い出があります。でも山頂までたどり着くと『気持ちいいな』と何となく感じていました。
ところが高校生ぐらいからは、暇があると友達を誘い山に登ってみたくなり、社会人になるとJRが発行している青春18きっぷで関西圏の山や街並みを歩くことの楽しさを感じるようになりました。
自然が好きなのは、たぶんいろいろな人に助けられながら今があるのだと思います。
これからもその繋がりを絶やさず、子どもたちに自然体験の機会を増やしていきたいと思っています。



松山総合公園



プレーパークとは、
「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーとした冒険遊び場。
子どもたちの自由な発想で楽しい遊びが生まれます。



季節ごとの収穫

山の中の遊び場では、季節ごとに、タケノコ、栗、どんぐり、ツタ、枝、木の葉…。様々な物が収穫できます。遊び道具にしたり、時には食べてみたり。自然はいろんな体験をさせてくれます。



秘密基地づくり

自然素材や廃材、身の回りにあるものを活かして作る秘密基地。子ども自身でアイデアを出し合い作りあげるまでに、色んな事を学びます。できあがった自分達の居場所！居心地は格別です。



工作で何作る!?

のこぎり、とんかち、ナイフ…。道具は、使ってみないと覚えられません。工作名人の大人スタッフに教えてもらいながら工作。いつの間にか上手に使いこなせるようになっていきます。



手作りおもちゃ

自分で作ったおもちゃで遊び、自分たちでカスタマイズ。一見危なそうなものもありますが、子どもたちは遊んでいるうちに、「大丈夫」と「危ない」の違いを上手に覚えていきます。



プレーパークとは??

プレーパークとは、子どもたちが想像力で工夫して、遊びを作り出すことの出来る遊び場です。ゲームばかりしている子どもたちに、仲間と一緒に遊ぶことの楽しさを知ってもらいたい!自然の中で、暑かったり寒かったり、虫がいたり、不便なことも多いけど、それ以上にリアルだから味わえる楽しさがいっぱいあります。でもそれは遊び込まないと感じることも、気づくこともできないのです。

年齢を超えた友達

小学校では出会わない子どもたちと出会います。年下の子どもに教えてあげたり優しくしたり、年上の子どものマネをしたり憧れたり。色んな子どもとのふれあいは大事な経験となります。



保険にはダイヤモンドの輝きもなければ、パソコンの便利さありません。けれど目に見えぬこの商品には、人間の血が通っています。人間の未来への切ない望みがこめられています。愛情をお金であがなうことはできません。けれどお金に、愛情をこめることはできます、生命をふきこむことはできます。もし、愛する人のために、お金が使われるなら。
「愛する人のために」 谷川 俊太郎



えひめ保険エイド

〒791-8012 愛媛県松山市姫原3丁目1-33
TEL/089-911-1011 FAX/089-911-1002
<http://hoken-aid.jp/>



放課後の家族です

多機能学童保育広場すくっと
〒790-0867
愛媛県松山市北立花町6-19
TEL/089-904-2251

大人から子供まで 英語を身につけて一歩前へ あんどうえいごきょうしつ

在米20年以上、とうりょうの奥さんの教室だよ!
余戸地区 089-904-5285 無料体験あり

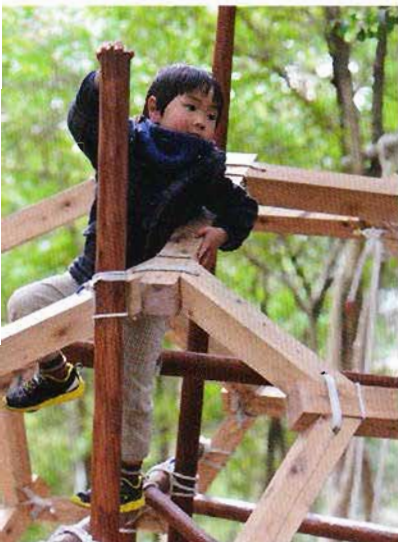
自然の中の遊具

公園に設置されている遊具とは一味違う自然の中の遊具。ちょっとスリルがあるターザンロープやみんなで乗って揺れる鳥かごなど大人気。大人もくつろげるハンモックもオススメです!

5月から始めた「みんなのひろばわいわい」には地域の子どもたちが毎日学校や家庭でのストレスを発散しに遊びに来ます。このエネルギーを自然の中で発散できたらもっと気分も晴れるのではないだろうかと思いつつ、子どもたちと関わっています。

味生地区で地域の子どもたちと関わり始めて11年目となり、山の上での冒険遊び場活動を開始して4年が経ちました。相変わらず地域の公園や空き地で遊ぶ子どもたちの姿は増えることはないですが、松山総合公園プレーパークに来てくれる子どもたちはどんどん増えています。遊び込んでいく子どもたちの姿にこの活動の必要性をひしひしと感じつつも、日常に当たり前に子どもが遊び込むことのできる場所や環境を取り戻すことの難しさも感じています。

学校、スポーツクラブ、塾、学童クラブなど、大人に管理された空間の中で今の子どもたちは育っていますが、出来ることなら子どもが自分で遊びたい遊びを探し、遊びたい仲間と毎日のように遊び込んでほしい。ただ昔と違い、交通事情や不審者問題など子どもたちを取り巻く環境は安全とはいいがなくなっているのも事実です。少子高齢化や高度情報化、厳しい経済情勢や格差の問題などを背景として、子どもを取り巻く社会環境は大きく変化してきました。未来を担う子どもたちすべてが健やかに育つための支援の質が今後、問われていくのではないのでしょうか。



地図は
背表紙

- 場所 松山総合公園内、考古館裏の山
- 日時 開催日時はHPをご覧ください。
- 対象 誰でも参加できます。
- 参加費 子ども1人300円、おとな1人100円
- 保険 傷害保険に入っています。
通院1日2,500円
入院1日6,000円

紹介した遊び以外にもも様々な遊びが楽しめます。

松山総合公園プレーパークは、皆様からの寄付金と愛媛県森林環境税などの助成金で運営しています。

松山総合公園プレーパーク活動実績

平成25年5月	松山総合公園プレーパーク開始
平成25年度	14回開催780人参加
平成26年度	26回開催1203人参加
平成27年度	35回開催1955人参加
平成28年度	33回開催2186人参加
平成29年度	26回開催予定

開催日時はHPで
チェックしてね!



愛媛の豊かな自然と子どもたちを繋ぐ
森のようちえんを平成29年5月より始めまし
た。夏は三津浜の商店街から三津の渡しを渡り
梅津寺の海岸まで散策し、9月からは松山総合公園
プレーパークの森の中で遊んでいます。

もり自然の中で保育する 森のようちえん



梅津寺の 海岸

大潮の日に海岸で遊びました。遠
浅の梅津寺の海岸の水がどんど
ん引き、海の中に砂浜の島が出
現し、残された魚たちが水だまり
に集まってきて取り放題となり、見
たことのない貝なども発見しました。五感を使って、海
の中の冷たい部分と温かい部分、波の感覚、音の不意
議、海水のしょっぱさなどを感じながら子どもたちは遊
びこんでいました。

森のようちえんでは

～自然保育～森のようちえんの活動内容と目的

松山を拠点として、地域の自然や、古い街並みを散策しながらの
自然保育を行っています。活動は毎日屋外で行い、子どもの自
発的な遊びをゆっくり見守りながら保育をしています。そして自然
との触れ合いの中で子どもたちの五感を育て、子どもの個性や
育ちに寄り添い、5年後、10年後の未来を見つめながら私たち
が今できることを日々考えて活動しています。



中島

大寒波が松山に到来した日でしたが、海を渡り
中島に着くとほとんど風がなく、天気も良かった
ので、イベントは無事開催することができま
した。地元の子どもたちも参加してくれ、とて
も賑やかなプレーパークとなりました。

海に浮かぶ中島で、
みかん収穫とプレーパーク



森 (プレーパーク)

葉っぱの中に
何体怪獣がいるかな？

森の中での遊びは、
無限の可能性を感じます。

森の中での子どもの遊びは様々です。走り回って遊ぶ子もいれば、モノづくりを始める子もあります。これまでもいろいろな子どもたちに出会ってきたけど、まだまだ森の中での遊びには無限の可能性を感じています。



農業体験

食べ物を作る
体験



6月に、松前町のときファームさんにて
田植えをしたお米が実ったので、収穫
をしました。子どもは田んぼの虫たち
と遊びながらも、稲刈りも手伝ってく
れました。

森のようちえんは、親子参加型プログラムと
子どものみ参加プログラムがあります。

親子参加型プログラムのしじまです。

子どもは自然の中で仲間と遊び、五感を使うことでどんどん成長します。その姿を実際にお父さんお母さんに感じてもらいたいと思い親子での森のようちえんを行っています。2歳ぐらいの子どもは親から離れずに、お兄ちゃんお姉ちゃんの遊ぶ姿をじっと見ているかもしれません。でも、その経験は必ず次に繋がります。子どもの時間は大人の時間とは違いゆっくり流れています。そのゆっくりの時間に寄り添い、個々のリズムに合わせながら子どもの成長を促します。今しかできない親子での自然散策や海遊びなどをぜひ体験してみてください。



坪内家

築150年の坪内家では、自家製の釜でピザを焼いたり、子どもたちと一緒にカレーを作ったり。坪内家は山と川に囲まれているので、自然の中で遊べます。足漕ぎの車や積み木、ごっこ遊びも人気でした。



森のようちえん

- 開催日時 水曜日と金曜日 9:30-13:30(祝日、8月、年末年始は休み)
- 活動場所 松山市周辺(松山総合公園プレーパーク・三津浜など)
- 対象 3歳~就学前(募集人数10人)※3歳前のお子さんは応相談。
- 持ち物 お弁当・水筒・タオル・帽子。服装はお知らせします。(季節・活動場所による)
- 保育料 週2日の場合は16,000円、週1日の場合は8000円※送迎はありません。
- 登録料 5,000円(年間)
- 保険 スポーツ安全保険に加入します。

体験できます！

親子での参加となります。
下のお子さんが小さい場合などはご相談ください。
体験料1回3,000円(初回のみ)

遊び場の現状はどうなっているのか!? 遊びの現場の声を聞いてきました!

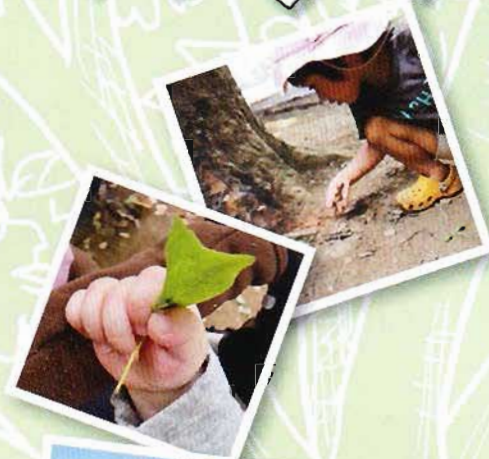
外遊びが必要なワケ

室内で頻発するいざこざが、
外遊びでは起こりにくい理由

外遊びの場で、お母さんが、「外で遊ぶようになって親の私が救われました」としみじみ話してくれることがあります。室内の遊び場で物の取り合いやケンカが絶えなかったけれど、外ではそういういざこざが劇的に減った、ということです。

それはどうしてなのでしょう。子どもには、自分のまわりに思い通りにできるスペースが必要ですが、自分のスペースに敏感な子ほど、室内の限られた空間ではトラブルになりやすかったりします。その点、外なら、スペースは比較的広く取れます。また、人数に対して使いたい物の数が足りなければ、当然ケンカに。見るからに楽しそうな「おもちゃ」には、どうしても「使いたい」が集中してしまいます。

でも外なら、そこにあるものがなんでも遊び道具に。土を触る子、虫を探す子、枝を拾う子、石を積む子……。やりたいこと



NPO法人 あそびっこネットワーク

がばらけるから、みんながそれぞれ満足できる。取り合いだってケンカだって、それだけ成長した証だけど、環境しだいで減らすこともできます。

それに何より、自分と他の子の「やりたい」がぶつかった時に、「あの子の気持ちも、そしてあなたの気持ちも大切」と認められることが大事。頭ごなしの「貸してあげなさい」ではなく、「どちらも使いたいよね、じゃあどうしようか」と一緒に考えるプロセスを大事に、子どもたちに安心して成長してほしいなと思います。

室内の遊び場でいざこざになりがちな子は、ぜひ、外も試してみてください。どちらのいいところもそれぞれうまく使って、子どもも親も楽しく過ごせたらいいですね。

「おひびよ通信2017春号」掲載

落ちてる枝や石ころをわざ
わざ拾う子どもに、「困った
な」と感じているあなたへ

枝を振り回してみたり、落ち葉を拾いあげてみたり……。せっかく遊具や砂場セツトがあるのに、子どもってどうしてわざわざ落ちてる危ない、汚いもので遊びたがるんだろ。そう思ったこと、ありませんか。

見ただけで「危ない、汚い」と感じる大人の感覚と、子どもの感覚は全然違うみたいですね。目新しいことやめずらしいものに対し、これはなんだろう?と興味を持ち、なんでも触ってみないと気が済まない子どもたち。

大人には「ツマラン」としか見えないものを、子どもは「いいもの見つけた!」と感じ、なんでも遊びに変えて楽しんでしまふ。それもすてきな才能です。何でもかんでも汚いと感じる大人の先入観を、少しは見直したら?と、子どもに問いかけられているような気がすることもあります。見ている大人はハラハラしますが、ちよっとした痛い思いを繰り返してだんだん用心できるようになったり、触ってみて「この感触やニオイがなんか嫌だな」と感じ、不衛生なものを避けるようになっていきます。

多少汚れても、後で手を洗えばいいかとおおらかに、子どもの好奇心が育っているのを喜ぶくらいの気持ちで見守ってあげたいですね。

「おひびよ通信2017夏号」掲載

NPO法人あそびっこネットワーク(東京都練馬区)

「『あそび場』から地域と社会を変える!」をモットーに、子どもたちが自由に主体的に思い切り遊べる地域の「あそび場」づくりと、「あそび場」からの発信を通して、「子どもが遊んで育つことが当たり前の社会」になることを目指すNPO法人。2003年に、月1回の「プレパーク」を始めてから徐々に開催回数や活動拠点を増やし、今では「プレパーク」「おひさまびよびよ」「練馬区立こどもの森」「子育てひろば」4業態の「あそび場」を、練馬区内7地域11ヶ所で開催している。



NPO法人

ふれあいの家-おばちゃんち

代表理事 幾島博子さん



子どもの「やりたい!」を大切に
にする大人でありたい

「子どもが外で遊ぶことって大切!」そう
思っていない人はいないと言ってもいいかも
しれません。外は何といっても開放的!自
然が身近、季節の移ろいも感じられるし、
子どもの好奇心をかきたてる刺激があふ
れています。

しかし、「外で遊ぶ」こと自体よりもっと
大切なことは、その遊ぶ子のそばにいる大
人の関わり方です。子どもが自ら何かを
発見し、ワクワクしながら自分のやりたい
ことを実現させようとしている時に、命と
健康に関わることもなく、基本的な社
会ルールにも触れてもないのに「あやし
ない、こうすれば?」「それはあぶない、
きたない、やめて!」と、言っていたらどう
でしょうか。子どもにとって魅力たつぷり
のはずの自然環境も台無しです。

逆に言えば、室内の遊び場や家庭の中
でも、子ども自身の「やりたい!」遊びが
できれば、子どもにとって魅力的な環境
となるでしょう。私の友人は、小3の孫と
その友達男子集団に毎日のように家を
開放していて、その様子の写真を見ると
よくぞ許しているという惨状でしたが、「
うちプレイパークだね」と言ったほど、
本当に楽しそうでした。実はその方のマン
ションの敷地では、子どもが集団で走り回

NPO法人ふれあいの家-おばちゃんち(東京都品川区)

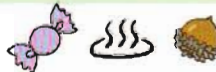
2006年に東京都品川区で開設。赤ちゃんから高齢者までが世代を超えて、ふれあい暮らせるそんな「まち」を作りたいという思いから、乳幼児と大人のいこいの場「みこちゃん&しょうちゃんち」や、どろんこ、水遊び、火起こしや木登りなどが楽しめる「北浜こども冒険ひろば」などを実施。「あずかり広場」には、短時間の就労や介護、通院、その他の理由で保育を必要とする方が、安心してお子さんを預けられる「ほっぺ&わっこ」や、登録した自主グループや団体のグループ保育に保育ボランティアを派遣する「えくぼ」などがあり、ほかの広場とあわせて21の事業を展開している。

(2015年8月現在)

って遊べなくなってしまう、近隣の公園には禁止事項がたくさん。問題は単に外から中かではなく、どんな大人がどう見守っているのか?子どもの「やりたい!」が実現できる場なのかどうか?ではないでしょうか。

プレイパークが少しずつ全国で増えています。プレイパークという「特別な」遊び場ができることと同様に、普通の公園でも、室内遊び場でも、家庭でも、子どもの「やりたい!」が実現できる場であつたらいいですね。ちよつとした生活の場面でも、子どもの「やりたい!」を大切にす
る大人でありたいものです。

クイズ! 右の3つをこの本の中から探せ!⇒



三津浜町家バンク

Mitsuhamachi Bank

www.mitsuhamaru.com

遊ぶことの次に大切なことはココで学ぼう

あなたの第二の出身校
学習塾 **アフエッティ**
愛媛県松山市宮町3丁目5-6
未来を切り拓く力を!
学習塾 **ファタリタ**
愛媛県松山市鷹子町724-1

N's Kitchen** & labo
smilehomemade Bread & cake

791-8062
matsuyamashi
sumiyoshi 1-3-33

WORK LIFE
COLLABO

松山市緑町1丁目2-1
和光会館
info@worcolla.com



練や正雪

089-994-5809
松山市住吉1丁目5-3

photo is memory
photo **A3**

江刺 直樹
090-5125-6154

LOTTERIA

ロッテリア松山中央通り店
営業時間 9:00 ~ 22:00
Tel/FAX 089-922-3562

～愛媛県最南端の町、愛南町の子育て支援団体～

こぶたたんぽぽポケットとんぼ

代表 増田さん にインタビューしました。



子育て支援グループこぶたたんぽぽポケットとんぼが活動を開始したのは平成2年12月。地域の乳幼児親子から高齢者、ハルディを持つ、持たないにかかわらず遊びを通じて共に集う場を提供し、地域の母子保健、生涯学習を応援し、子育てネットワークの定着を図りつつ、楽しい学びや遊びを通じて地域の暮らしを活性化するという目的で、子育て支援に限定せず、過疎化が進む町のこれからの在り方も考えながら27年間、愛南町の活性化を願い活動を推進してきた団体です。

今回は愛南町に訪問し、地元のお母さんや地元の方などに「外遊びが大切なワケ!」ということで、「愛南町の子どもたちは目の前にある海や森で今でも遊んでいるのか?」を聞いてきました。

の景勝地を有する「足摺宇和海国立公園」に指定されており、温暖な気候のもと、内陸部では米作とともに多様な地形を利用して柑橘栽培も盛んです。人口21902人(平成27年)の愛南町では町の子と、海の子、そして山の子ともたちでは少し状況が違っていました。

子ども達の頃、海岸部に住んでいた30代のお母さんの話では、「自分たちが子どもの頃は山で秘密基地を作ったりして走り回り、海でも遊んでいた。保護者が一人いれば仲間と海に潜ったりして遊ぶこともできた。今考えれば遊びといえば自然の中だった。でも町の子はその時から外で遊ぶよりも塾やスポーツクラブに通う子が多かったように思う。ゲームを持っているのも町の子の方が多かった。」ということでした。ただ、今は海の子もあまり外では遊ばなくなっているというのが現状のようにした。

代表の増田さんが活動をしてきて感じていることは「お母さんたちは子どもの時に自然の中での遊び体験をしています。が、自分の子どもを連れて遊びに行くのは不安みたいです。慣れた人と一緒に参加とか、企画されたものに参加して楽しむような気がします。」と話していました。遊べる場所はいっぱいあります。公園などに禁止事項もほとんどありません。ただ、どの地域でも室内でゲームをしたり、塾やスポーツクラブに通う子どもが増え、外で遊ぶ子どもの姿は少

こぶたたんぽぽポケットとんぼ

愛媛県の最南端の町、愛南町で「地域ぐるみで子育てを!」をモットーに活動をしている 子育て支援ボランティアグループです。平成17年から地域子育て支援拠点事業「こぶたの広場」を常設で運営し、あいなん小児救急医療学習会なども実施しています。

外遊びが必要なワケ

外遊びは「生きる力」を育む

NPO法人みんなダイスキ松山冒険遊び場 山本良子

「子どものエネルギーが爆発だ!」今年も久万高原と中島で3泊4日のサマーキャンプと、1泊2日の秋の中島サイクリングキャンプを実施しましたが、自然の中で元気いっぱい遊び込む子どもたちの姿には、毎回エネルギーが爆発するような躍動感とまぶしい太陽のような輝きを感じてきました。そして川で遊び、海で遊び、山で遊び、自然と共に生きる子どもたちの姿に「生きる力」を実感しています。

文部科学省の学習指導要領による「生きる力」とは、変化の激しいこれからの社会を生きるために、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育て、知・徳・体のバランスのとれた力を育てるとあります。まさしくこれを実践しているのが、自然体験活動ではないかと思っています。教科書を読んで学ぶよりも自分が動いて、考えて、悩んで、一人ではなく仲間と行動するプロセスに学びはたくさんあります。

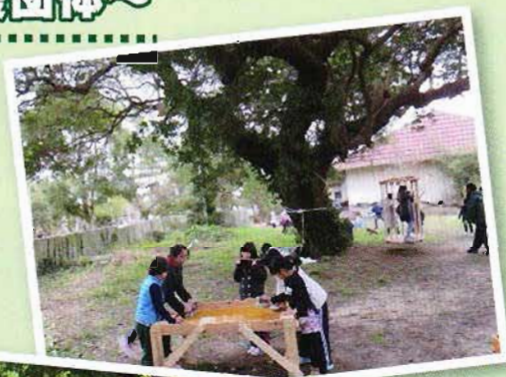
最近の子どもたちは公園で遊ぶこともなく、ゲームばかりして、放課後は学童保育やスポーツクラブに

～忽那諸島最大の島 中島の子育て支援団体～

中島みらいクラブ にインタビューしました。

愛媛県松山市の高浜港よりフェリーでおよそ1時間、忽那諸島に浮かぶ中島でプレーパークが始まったのは平成28年4月のことでした。地元のお母さんからの要望で私たち団体(NPO法人みんなのダイスキ松山冒険遊び場)も協力しながら進めていきました。

中島は8月下旬に姫が浜ビーチで中島トライアスロンが行われ、島では柑橘の栽培が盛んです。磯ではサザエや亀の子、ニナ貝などいろいろな生物を観察することができます。島々からなる忽那諸島の中心にあり、北西には広島や山口の島々が見える風光明媚な島です。そんな自然豊かな場所ですが、子どもたちはゲームなどをして室内で遊ぶことが多くなっており、



海で遊ぶ子どもの姿も少なくなっているようでした。

中島プレーパークを開催する時は地元の子育て支援団体「中島みらいクラブ」が主体となり、島の約3割の子もたちが参加してくれます。プレーパークはみかんの収穫期以外は定期的に開催しています。

中島も過疎化が進んでおり、かつて15,000人以上いた人口も現在はおおよそ3,000人と5分の1に減少し、耕作放棄地が増え続けているのが現状です。でも、反対にこの自然の中で子育てしたいと移住してくる家族も増えています。プレーパークに協力してくださる方の中には、かつて世田谷で羽根木プレーパークに参加していたお母さんもいます。

住民主体のこうした活動が増えることで島自体が活性化し、移住者が増え、新しい地域の繋がりが増えることを願い、今後も支援を進めていこうと思います。



中島みらいクラブ

中島みらいクラブは、瀬戸内海に浮かぶ離島・中島で活動する親子サークルです。島ならではのゆったりとした時間と豊かな自然環境の中、島内探検、磯遊び、虫ウォーク&お泊り会、親子クッキング、島外遠足、親子ダンス、プレーパークなどなど…。

四季折々の行事を通じて、のびやかに活動しています。メンバーに関わらず、島内外から参加可能なイベントも企画しておりますので、どうぞ皆様ご参加下さい。

通い、自分がしたい遊びを思いっきり体験する場がどんどん減ってきています。愛媛には素晴らしい自然がたくさんありますが、どの地域の子どもたちも自然の中で遊ぶことなく室内で過ごす傾向にあります。あふれるようなエネルギーをどの子も持っているにもかかわらず、発散する場がありません。子どもがエネルギーを爆発するような遊び込みの次には、必ず「生きる力」や「学ぶ意欲」が呼び覚まされる原動力が生まれます。それを育むことが「外遊び」の醍醐味でもあると思っています。日常に、遊び込む場がないのであれば、作ればいい。地域の公園でもいいし、田んぼでもいい、どこだって子どもは遊び場にしてしまおう発想力を持っています。

これからの激動するグローバル社会を生き抜く子どもたちを育むことは簡単ではありません。社会に流され、みんなと一緒にという安心感を求めすぎるといつしか自分が見えなくなります。今ではなく5年後、10年後の未来を見据えた子育て感覚を誰もが養い、何があっても生き抜く力のある子どもたちを育てる。

これからも「外遊び」が日常の中で思いつきりできる環境が社会に根付くことで未来への扉がもう一枚開くと確信して日々活動を続けていきます。

このキャンプは自然の中で思いっきり遊び、薪を燃やしご飯は自炊を基本として、3泊4日を仲間と共に協力しながら生活する体験型キャンプです。

2017 アムプル高原 キャンプ



カレーライス作り



皿ヶ峰

1日目

1日目は皿ヶ峰登山。登山口の風穴の冷たい風に癒されながらも竜神平に向かって出発!頂上付近は霧がかかり幻想的な風景でした。

2015年にこのキャンプに参加した子どもたちのお楽しみはイナゴ取り。この日も100匹近くを捕まえてキャンプ場で調理をしていただきました。

キャンプ場に帰ってからはドラム缶風呂体験とカレーライスを作って食べました。



名湯 ドラム缶風呂

効能:めっちゃ楽しい



お湯張り



湯沸かし

Ample Grid, inc

■ イベント受付サービス『イベモニ』

ivemoni.jp

■ 愛媛の美術情報サイト『テクボ』

tekupo.com

■ 絵画レンタルサービス『アートスイッチ』

artswith.jp

株式会社アンプルグリッド

■ amplegrid.jp

☎ 089-932-6835



2日目は面河川で遊びました。毎日夜になると雨が降る久万高原。川の水位も毎日変わります。雨の降りかた、川の様子を確認しながらの川遊び。でも昼間は松山市内に負けないぐらい暑いのでやっぱり川遊びは気持ち良かったですよ!

2日目

キャンプ場横の池でアカハライモリを発見! お腹の赤い部分には毒があるイモリですが、手を洗えば危害はないので、子どもたちが網で必死に取っていました。

3日目は面河溪の川で遊び、自然の中を散策しました。五色河原、亀腹などの絶景スポットを堪能し、午後2時から面河山岳博物館の矢野学芸員からもみじ岩やアブの生態など面河の自然についていろいろ学ぶことができました。面河山岳博物館も観覧し、好奇心旺盛な子どもたちにとっては最高のスポットとなりました。



3日目



夜はお待ちかねの花火大会とキャンプファイヤー。夜空に炎が天高く舞い上がる光景は神秘的で山に宿る神様が下りてきているようなそんな不思議な感覚を抱きました。



夜はバーベキュー。サプライズで今治の井出さんからのプレゼントで鯛、サザエ、アワビも焼きました。スタッフのゆみちゃんが作ってくれた鯛飯のおにぎりは、お釜で炊いたのでおこげもあって美味しかったです。

4日目

子どもたちは帰り支度・部屋の掃除をし、スタッフも最終チェックを終えた後、子どもたちの「もう一度川遊びがしたい!」という要望を受け、最後の川遊びを堪能しました。帰りのバスの中では半分ぐらいの子どもたちが熟睡。17:30頃JR松山駅に帰ってきました。



久万高原 サマーキャンプ

日程 2017年7月26日(水)~7月29日(土)3泊4日
 宿泊場所 愛媛県上浮穴郡久万高原町中組 旧面河小学校
 参加人数 12名 スタッフ数 12名

海で思いっきり遊ぶことでわ
かる自然の凄さや怖さ…。
仲間と生活するから
学べる協力すること
の楽しさや
大切さ。

中島 サマーキャンプ

2017

2日目

アオウミウシ
鮮やかな青の模様が
きれいでした。

アメフラシ
毒はないけど紫色の液
体を出していてちょっと
不気味でした。

ウスユキミノガイ
殻が割れてしまいま
したが珍しい生きもの
です。

1日目

1日目から今回は予定外のサブ
ライズイベントに参加することが
できました。4年に1回の神浦の
西宝山 毘沙門天の御開扉が8
月22日から24日まで行われてお
り、キャンプ初日は神浦港での花
火大会に参加することができまし
た。三津浜の花火大会ほどの打
ち上げ数はなかったものの、満天
の星の下での花火大会は最高
にキレイでしたよ!

2日目は朝から海で泳ぎ、午後からは海の
生物調査を実施しました。

「城」という島の辺りの生物調査ではいろ
んな生物を見つけることができました。
写真以外にも、亀の手やニナ貝などを子
どもたちが捕まえていました。

海を泳いでいるとその横で「タコ」を発見!
子どもたちが大騒ぎして追いかけるシー
ンも見られました!



NPO法人
家族支援フォーラム

住所/松山市姫原2丁目3-21
TEL/089-924-8989 FAX/089-924-8992

子育てコミュニティ
だんだん

特定非営利活動法人
愛媛県松山市富久町 422
TEL (089)906-6274
URL <http://www.npo-dandan.org>



ホームページ



フェイスブック

YuMele

石丸裕司税理士事務所

税理士 石丸 裕司

〒790-0824 愛媛県松山市御幸2丁目10番13号 202号
TEL/(089)924-1255 FAX/(089)-994-5344



お弁当なら

株式会社 ナカフードサービス

TEL/089-952-1156

FAX/089-952-1446

松山市大可賀2丁目2-12

3日目

3日目。午前はひとまず休憩し、ゆうきの里の隣で育てている鶏の飼育小屋を見てきました。化学肥料を一切使わず、ホルモン剤なども使っていない安心安全な食を追求し続け現在87歳の泉精一さんのお話が聞けて感激してしまいました。笑顔が本当にステキでした！

子どもたちは陸にいても元気に遊びまわっているの、竹を山からとってきて剣をみんなで作ることにしました。

その剣をもって、午後からは再び海遊びにgo!!中島の子どもたちと一緒に泳ぎ、スイカ割りもチャレンジしました！それから昨年キャンプのスタッフをしていたカオルンバが生まれたばかりの赤ちゃんを連れて遊びに来てくれました。夜は花火大会とキャンプファイヤーも実施しました。夜の海は真っ暗です。その中を車のライトと懐中電灯を照らして移動しました。ちょっとドキドキの花火大会でした。



みんなで食べるごはんは最高においしい！

剣で遊ぶのはいつだって人気！



4日目

4日目は朝からあいにくの雨。片付けと宿泊施設の掃除を済ませ、昼食を食べたころから日差しが少しずつ戻ってきたので、バスの時間ぎりぎりまで海岸で遊ぶことができました。釣りも楽しみ、ペラやフグが釣れてましたよ(^^)。

そして最後にみんなで写真を撮ってバスに乗り込みました。



クイズ! みかんを探せ!⇒ヒント)各見開きに1つずつかくれているよ。



中島サマーキャンプ

日程 2017年8月23日(水)～8月26日(土)3泊4日
 宿泊場所 松山市の忽那諸島にある中島の「ゆうきの里」
 参加人数 12名 スタッフ数 12名

印刷・デザイン・広告・WEB・アートレンタル



SWITCHPLAN

スイッチプランキャフクター
スイッチくん

株式会社 スイッチプラン

愛媛県松山市南江戸2-9-17 〒790-0062
 tel 089-995-8231 fax 089-995-8232
<http://switchplan.jp>

松山市で活動している英語サークルです。



OKiDoKi

LINE ID: nul4988k



工房

空

〜くう〜

三津浜商店街

〒791-8062

愛媛県松山市住吉1丁目4-14

愛媛で30年間続いている

無人島キャンプ

知っていますか？



無人島で、仲間と一緒にどう過ごす!?
子どもたちの生きる力が試されます。

御五神島(おいつかみじま)の無人島キャンプとは、真夏に東・中・南予各地から集まった男女の小中学生が、宇和島市沖の御五神島で一週間の無人島生活を体験するものです。島には電気やガスはもちろん、水洗トイレやお風呂也没有。制約の多い不便な自然環境のもとで、仲間と一緒に、一日三度の食事を作り、日暮れとともにテントで寝るという生活を繰り返します。一週間の無人島生活では何度も困難に直面します。そのたびに創意工夫したり、班の仲間と協力し合ったりしてみんなでその困難を乗り越えていきます。そうした体験活動を通じて、子どもたちは自立心や協調性などの社会性を育み、柔軟で強い精神力を培っていきます。

無人島生活の後半には「自給自足の日」があります。その日は、魚を釣ったり、貝を捕まえたり、島に自生している野草を採ったりして自分たちで食料を調達しなければいけません。テントの周りに生息しているクモやバッタも貴重なタンパク源で、揚げて食べると香ばしくてとても美味しいです。



「この子と一緒に生きていく。」を決めた方へ。

新しい人生を、前向きに生きていく方の再スタートをサポートします。
秘密は厳守。まずはメールでご連絡ください。

- ・トラブルをまとめる「示談書」の作成
- ・新生活をはじめる「公正証書」の作成
- ・安心を支える「児童扶養手当」の受給サポート
- ・再就職に有利な「履歴書」等の作成
- ・万が一にそなえる「民事信託」の設計



田んぼに
花を咲かせて
いきもの喜ぶ
米づくり

ときファーム(松前町)

携帯 090-9554-3602

mail: fuventud@d1.dion.ne.jp

こころざし行政書士事務所

Re:START サポートオフィス

HP <http://restart.cocorozashi.org/> メールはコチラから⇒





この事業の詳しい内容は

■ NPO法人えひめ子どもチャレンジ支援機構

ホームページ <http://kochall.org/>

今年30周年を迎えたこの事業は、昭和63年度に「少年冒険生活体験事業」として始まり、30年間で1,400名あまりの子どもたちに、自然体験活動の機会を提供してきました。中には親子2代にわたって参加している子どもがいたり、過去の参加者が大人になり教員として再び関わる人がいたり、人材育成の好循環も生まれています。今後も、愛媛の子どもたちに体験活動の機会を提供しながら、未来を拓く人材育成に努めてまいります。



現代の子どもたちには自然の中での体験が不足しています。心や体の成長のためにも「自然の中でのびのびと遊んだり、ひみつ基地を作ったりする体験をもっとさせてあげたい!」と思う保護者も増えているように思います。

そんな社会事情を映し出すかのように、テレビ局はタレントが自然体験を満喫する番組をどんどん世の中に排出しています。鉄腕! DASH!!でおなじみのタツシ島もその一つの企画だと思っています。タツシ島があるのは愛媛県の那須島にある「由利島」ですが、愛媛県にはそうした島がたくさん点在しています。一昔前なら、子どもだけで海の中にもぐり、TOKIOのように魚を捕まえて遊ぶなんて当たり前の光景であったわけで、今のように画像の中の海に潜るタレントを見て楽しむこの時代は想像もできなかつたことでしょう。そして今でも、宇和島市にある無人島「御五神島(おいつかみじま)」では毎年8月に海での1週間のテントでの無人島キャンプが開催されています。30年続くこのキャンプの醍醐味は自給自足。日頃何不自由ない生活をしている子どもたちがそのキャンプでは自分たちでご飯を作り、材料がなければ、海で魚もゲットする。ちよと過酷なキャンプですが、このキャンプの参加者やその保護者からの継続を求める声は大きく、わが娘も11年前にお世話になりました。

素晴らしい自然とそれを子どもたちに伝えることのできる人材が豊富にいる愛媛だから可能になつてきたことだと思います。

NPO法人みんなダイスキ松山冒険遊び場
山本良子

子供がしたことがある自然体験・社会体験 (平成24年度)



子どもの体験活動が減少しています。かつての多くの子どもたちは、自然の中、地域の中で仲間と共に遊び成長する過程で、様々な自然体験・社会体験を積み重ねて成長する機会に恵まれていました。しかし、現在における都市化、少子化、電子メディアの普及、地域社会の希薄化、リスクへの過剰反応による過保護等の社会の変化により、子どもにとって必要な遊びや体験の場、「本物」を見る機会が減少している事が指摘されています。

(内閣府 平成27年版子ども若者白書 第3章 育環境 第2節 体験活動を参照)

子どもの五感を磨くために 久万高原ドライブ！

私たちが久万高原町に関心を持ち始めたのは、久万高原サマーキャンプを始めた3年前です。子どもたちに自然の豊かさを感じてもらい、そして地元との交流を通して自然を大切にする心も育んでいきたいと考えたからです。

教科書で何かを学ぶのではなく、とにかく五感を磨くためには現場へ行くのが一番。川の冷たさ、エメラルドグリーンの澄んだ面河溪の流れ、そびえ立つ絶壁を眺めながら、はるか昔へと想いはタイムスリップしてみたり。久万高原天体観測館で見た満天の星、皿ヶ峰の風穴から流れる不思議な冷風、そして日々変化する山の天気。

季節ごとに咲く花にしても、紅葉にしてもテレビで見るだけだと「きれいだねー」という感覚しか出てきませんが、現場でその光景を見ると気温の変化、風、雲、水の音、澄んだ空気など見えないものが自分の体を通して五感がどんどん呼び覚まされるのを感じます。自然に対する畏敬の念も自然と育まれます。

そして五感が目覚めると不思議に虫や花にも関心が湧きます。キャンプの際も必ず面河溪を散策後に立ち寄り寄る面河山岳博物館には半分ぐらいの子どもたちが目を輝かせて観覧しています。

松山空港



自動車
約1時間

久万高原町



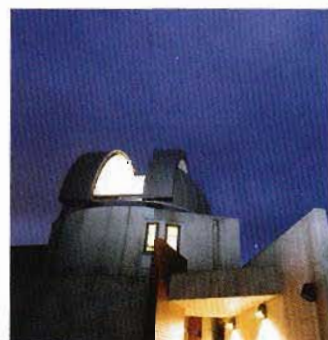
自動車
約30分

面河溪

久万高原はそうした自然の宝庫です。面河溪以外にも石鎚、四国カルスト、大成、大川嶺、御三戸嶽（みみどだけ）など自然豊かな場所が数多くあります。
自然の本当の意味の大切さを学校だけで学ぶことは不可能だと思っています。現場に行き、人と出会い、五感を使って自然を感じることができ、子どもたちを育み、その子どもたちが学びの場でそれを検証する。まわり道も大切。感じることから学びを深める体験活動をこれからも進めていこうと思っています。



面河溪 仁淀川上流9.6キロメートル（上流域のうち愛媛県側を面河川とも呼ぶ）に亘る渓谷で、周囲を四国山地の高峻な山々に囲まれ、入口付近で標高650メートルに達する。V字谷となっており、早瀬、深淵、瀑布が連続する。国の名勝（1933年指定）で、石鎚国立公園、面河・四国カルスト自然休養林にも指定されている。名所には関門、相思溪、五色河原、亀腹、蓬萊峽、紅葉河原、御栄光の滝などがある。紅葉の名所でもある。



道の駅天空の郷さんさん

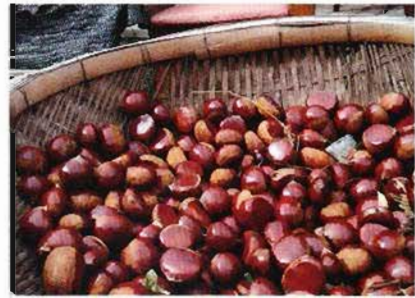
溪泉亭

久万美術館

久万高原天体観測館



自然と人の相互依存と共生関係を目指す 由良野の森



問合せ先
NPO法人 由良野の森
☎ (0892) 211-8076

久万高原町の二名にある由良野の森は、2003年春、由良野の森の発起人である清水秀明氏（現顧問）が約3畝の土地を購入し、1本の木を植えるところから始まりました。その後土地の整備が開始され、2005年の2月には有志により、「木を育てる活動や、由良野の森の活動でのさまざまな活動に参加することで里山への理解を深めていく趣旨」のもと、「ゆらの」という名の会がつけられました。以来14年の間、由良野の森は「自然と人の相互依存と共生関係の本来の姿を求めて」発展してきました。2017年9月からはNPO法人由良野の森として、さらなる事業展開を計画中です。現在も「森づくり事業」や「森の学び場（親子参加）」など、持続可能な森の発展、社会づくりを目指した様々な活動を展開中です。

久万高原町は移住促進事業を行っています。

① 移住者住宅改修事業

空き家を取得し改修する場合に必要な補助を行っています。補助率は事業費の3分の2以内で、上限額は400万円。本体工事に付随して行われる家財道具等の搬出等20万円

② 空き家バンク制度

空き家情報が随時HPから確認できます。

③ 子ども医療費助成

0～15歳の義務教育期間終了前までの子どもについて通院・入院時の自己負担額を助成する制度です。

④ 結婚祝金

夫婦（満40歳未満）ともに久万高原の住民、あるいは定住の意思を有する場合に2万円が支給される制度です。

⑤ 新生児誕生祝金

新生児の父母等が久万高原の住民、あるいは定住の意思を有する場合に3万円が支給される制度です。

⑥ 通学定期バス代等補助（町内幼稚園、小・中学校）

久万高原町内の幼稚園、小・中学校に遠距離（幼稚園・小学校3km以上、中学校4km以上）から通学する者にバス通学定期代（100%（一部例外有））を補助します。但し、久万高原町立小・中学校通学区域に関する規程に基づく通学区域内とする。（校区外通学の場合は補助することはできない。）

⑦ 無料職業相談所

久万高原町では、町内事業所の求人情報を収集するとともに、町民及び町内への移住希望者等への求人・求職のマッチングを行い、求職者の早期就業並びに町内事業所の人材確保を図る目的として「無料職業紹介所」を開設しております。

問合せ先

久万高原町役場 ふるさと創生課 移住促進班

☎ 0892-21-1111（内319）

イラスト、絵本製作、つくってあそぼ!

もっさんみいこ



このパンフレットは、もっさんみいこがデザインしました。

面河溪谷手前の休憩スポット是非お立ち寄りください

おもご ふるさとの駅

愛媛県上浮穴郡久万高原町相の木
地元の食材を使ってまごころこめてお届けします。

おもごレンタサイクル 始めました!

利用料金：1台1,000円

利用時間：9時から15時まで

電話：0892-58-2440



駄菓子
売ってるよ!

こどもの
悩み相談受付中!

宿題したり
おしゃべりしたり

みんなのひろば わいわい

だれでも立ち寄れる子どもたちの居場所。OPENして1か月もたたないうちに地域の子どもたちが毎日のように遊びに来るようになりました。

自分が自分でいられる居場所

平成29年5月より始めた地域の子どもたちの居場所「みんなのひろばわいわい」には毎回、多くの子どもたちが遊びに来ます。学校のこと、家庭のこと、友達のこと、いろいろな悩みを抱え子どもたちも日々生きている。

松山市の味生地区で子どもたちの居場所としてプレパークなどを開催して早11年。わが子の成長と共に、地域の子どもたちの成長を見守りながら思うことは、「繋がり」の大切さでした。

松山は地域行事やお祭りが盛んで、昔なら子どもたちは地域の中でいろいろな大人と繋がり、成長してきたのだと思います。しかし、田んぼが埋め立てられ新興住宅地が増えるにつれ、そうした昔からの繋がりを避ける傾向は強くなっています。それと同時に、大人も子どももインターネットなどのバーチャルな世界の中に心の癒しを求め、地域との繋がりはますます希薄化しています。

大人も仕事や家庭の悩みなどで子どもに寄り添う余裕の持てない人も増えていますが、子どもには誰かにかまってもらう時間が必要です。話しかけたり、耳を傾けたり。そうした人との関わりの中で、子どもたちは社会性や常識を身につけ、語彙を増やし、物事の見方や考え方を学んでいきます。そこに十分な時間がかけられたとき、その相手やそこにあるモノ、それを包む空間は、その子になり、構えなくてよくなり、自分が自分でいられるようになり、居場所となります。「みんなのひろばわいわい」がそうした子どもたちの心に寄り添うことのできる場所になることを願いこれからも活動していきます。

味生地区での 子どもの居場所をはじめたワケ

私は味生地区の飯岡公園というところで平成18年から24年まで約6年間毎週土曜日、冒険遊び場を開催しました。(開催日数241日、延べ人数7000人)始めたきっかけはひとりの親としてゲームばかりで遊ぶ子どもたちに何とかして屋外で仲間と遊んでほしいという思いからでした。その活動の中で子どもの社会環境の変化や、いじめが起こる根本の問題、子どもの発達における地域の役割の重要性を身に染みて感じてきました。塾や習い事、スポーツクラブによって子どもが外で仲間と遊ぶ時間はどんどん削られ、不審者等の問題により遊ぶ場所も制限され、子どもたちの遊びの大半をバーチャルな世界が占めようとしています。地域の子どもたちを地域で育み、守り育てることは現状では理想でしかありません。ただ、そうした地域社会を社会全体が求めたならば、過密すぎない松山、人間が穏やかな地域性を鑑みればまだまだ希望は残っていると感じています。

みんなのひろば わいわい

場所 松山市別府町454-1

営業時間 毎週火～金 15:00～17:30(夏期・年末年始休み)

平成29年5月9日にOPENしました。

地図は
背表紙



伊予鉄三津浜駅より
徒歩約5分

駄菓子場 まさおかし屋

平成30年3月末で
閉店します(>_<)!!

様々な人たちとの交流が生まれ
れた居場所

平成28年6月19日にOPENした「駄菓子場まさおかし屋」は平成30年3月末をもって閉店することとなりました。地域の子どもの居場所として始めた場所ですが、全国を旅する若者や移住を考えている人など様々な分野の人たちが遊びに来てくれる場所となりました。応援してくれたみんな本当にありがとう!



まさおかし屋

地図は
背表紙

場所 松山市住吉2丁目2-20 旧濱田医院1階
営業時間 平成30年1月～3月は毎週日曜日
10:00～18:00に開店しています。



みなさんこんにちは、仙ちゃんこと仙波光です。
駄菓子場はいろいろな方々の居場所として営業して来ましたが、子ども達はもちろん、障害者、外国人、日本一周する若者など、たくさんの方に「来店いただきました。彼らと出会った事で、私自身が学ばされたこともたくさんありました。」
よく、「来店いただいた方から「なぜ駄菓子場をやっているの?」という事を聞かれます。子どもは喫茶店に行く事は校則では禁止されているのかもしれないけど、子どもにも喫茶店みたいな場所が必要ではないかと思いましたが、駄菓子場で駄菓子を買って駄菓子を食べながら友達と遊んだり、会話をしたりするスペースがあってもいいのではないかと思っています。

仙ちゃん
オススヌ

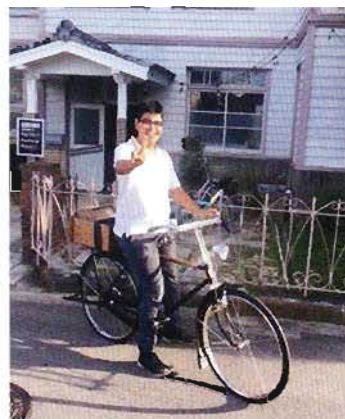
三津の渡し

まさおかし屋から、徒歩5分。無料で乗れる連絡船です。レトロな街と港町の風情を楽しんでみてください。



私は、障害者としてこの世に生まれてきました。今もそうかもしれませんが、どこかで自分自身を嫌っていました。大学の頃、仲間達の将来がどんな決まってる中、なかなか決まらない自分を何度も悩ませました。でも後で分かったことは「自分はできないのではなく、周りの人よりちょっと遅れているだけなんだ」という事でした。私だけではなく、障害を持っている方は、どこかで自分自身を嫌いになる人が多いのかもしれない。就職活動をしていても、仲間が結婚した時も彼らと自分自身を比較し何度も悩ませました。だけど、レディー薬局で働きながら、駄菓子場「まさおかし屋」の店長をしている人は、どこを探しても私じゃないののではないかと思います。今後は主にレディー薬局の勤務となりますが、職場でも、駄菓子場でも、出会いを大切にしたいです。そして障害を持っている仲間達と共に、お互いの生活を喜び合える仲間がもっと増えたら嬉しいです。

ありがとう! 駄菓子場まさおかし屋



団体概要

団体名 NPO法人みんなダイスキ松山冒険遊び場

所在地 〒791-8056 愛媛県松山市別府町734-9

設立 平成18年8月活動開始(平成28年3月25日法人格取得)

連絡先
✉ Email: info@asobiba-matuyama.org
💻 HP: <http://asobiba-matuyama.org/>
☎ Tel: 080-8902-9627(山本)

代表 山本良子

- 活動内容
1. 継続的遊び場事業
 - ・松山総合公園プレーパーク
 - ・出張プレーパーク(北条・鹿島・中島・面河・久万高原)
 - ・三津浜地区子どもの居場所事業「駄菓子場まさおかし屋」
 - ・味生地区子どもの居場所事業「みんなのひろばわいわい」
 - ・森のようちえん(保育型・親子型)
 - ・キャンプ
 - ・子育ての悩みや不登校の相談事業
 2. 啓発事業
 - ・講演会や勉強会を実施
 - ・遊び場通信「とも☆たく」年1回発行
 - ・HPにて遊び場情報を随時発信
 3. 東日本復興支援事業
 - ・「福みかん」事業
 4. 他団体とのネットワーク事業
 - ・松山NPO登録
 - ・特定非営利活動法人 日本冒険遊び場づくり協会 四国地域運営委員
 - ・NPO法人 森のようちえん全国ネットワーク連盟会員
 - ・松山法人会会員

📁 会員の特典

- ① 会員年度は4月から翌年3月までの1年間とします。
- ② 会員には年1回発行する遊び場通信を発送し、メルマガやHP,FB,ライン等で団体の行うイベント情報や子育て分野の情報を随時発信いたします。
- ③ 松山総合公園プレーパーク子ども1日チケット9枚と「駄菓子場まさおかし屋」と「みんなのひろばわいわい」で使える300円券をプレゼントします。

📁 入会申し込み方法

入会ご希望の方は、HPよりお申込みいただくか、直接スタッフまでご連絡ください。
直接お申込みいただいた場合、申込書と振込先情報をお渡しいたします。
不明な点などございましたら、お気軽にお問合せください。

お問い合わせ/Email: info@asobiba-matuyama.org Tel: 080-8902-9627(山本)



<http://asobiba-matuyama.org/>

沿 革

2006年に松山市の飯岡公園で遊び場活動を開始して今年で11年になります。

活動の中で一番感じてきたことは地域との「つながり」の大切さでした。少子高齢化社会と地域の過疎化問題は、愛媛の子育て環境にも大きな影響を及ぼしています。多様化する社会の中で、共に育つことの大切さを確認し、子どもの遊び場環境を通して、これからもいろいろな人とつながり、愛媛がより住みやすい環境になることを願い活動を続けていこうと思います。

2005.11

認可外保育所どろんこKID'Sを開園(2007.12より休園)

2006.8

松山市の飯岡公園にて毎週土曜日に冒険遊び場活動を開始

2006.12

NPO法人あそび環境Museumアフタフ・バーバンによる

『さん・ばら・りん劇場』

『まちを遊ぶ〜松山に黒マント団参上!〜』を実施

2008.7

まつやま子育て支援NPO協議会の立ち上げに協力

2009.8

NPO法人あそび環境Museumアフタフ・バーバンによる

『三津に忍者が現れる!』を実施

2011.11

愛媛県「愛顔の子育て大賞」奨励賞を受賞

2011.6

特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会

四国地域運営委員となる

2011.8

「福みかん」活動に協力。福島の子育て支援に愛媛のみかんを収穫して「みかんじゃー」が送る復興支援事業です。※

2012.6

飯岡公園での遊び場活動を休止(開催総日数

241回、参加延べ人数7000人)

2013.3

子どもの居場所事業「ボールあそびできます(*^_^*)」開始

2013.5

松山総合公園プレーパーク「森とあそぼう」開始(〜2017)

平成25年度14回開催780人参加

平成26年度26回開催1203人参加、

平成27年度35回開催1955人参加

平成28年度33回開催2186人参加

2013.9

「福島の今を知り、愛媛の防災を考える」講演会開催

2013.10

松山市子ども子育て会議委員となる

2014.7

松山市にある「鹿島」にて「かしまプレーパーク」開催※

2015.7

久万高原サマーキャンプ開催※

2015.11

北条プレーパークに協力(せとうちリュックサックが主催するイベントで、立岩川水辺公園で開催しています。)※

2016.3

法人格を取得

NPO法人みんなダイスキ松山冒険遊び場として活動開始

2016.4

中島プレーパークに協力(中島みらいクラブが主催するイベントで松山市忽那諸島にある中島の長師公園で開催しています。)※

2016.6

駄菓子場まさおかし屋オープン

2016.8

8月11日(山の日)おもて冒険遊び場に協力※

2017.5

味生の子どもの居場所事業「みんなのひろばわいわい」開始※

2017.5

屋外型自然保育「森のようちえんIVEC(あいべっく)」開始※

※と書かれているのは現在も事業が継続されているものです。

会 員 募 集

NPO法人みんなダイスキ松山冒険遊び場は、未来を担う地域のすべての子どもたちとその保護者を支援する為に、自然の中で地域の人に見守られながらのびのびと育っていく地域社会を核とした新しい地域子育てモデルに基づく、保育及び子育てに関する事業、並びに環境教育及び防災教育を行い、地域社会の活性化及び住みよいまちづくりに寄与すると同時に、これを愛媛県下に発信し、広めていくことを目的として活動しています。

● 活動の趣旨に賛同し、参加し、支えるために下記の会員を募集します。

正会員	個人	年会費	5,000円
賛助会員	個人	年会費	3,000円
	団体	年会費	5,000円



NPO法人 みんなダイス丰松山冒険遊び場

開催日時やイベント情報、
活動報告ブログなど情報
盛りだくさん!



<http://asobiba-matuyama.org/>

いいね!を押してください。
最新の情報をお届けしま
す。



<https://www.facebook.com/asobiba.matuyama/>

あそびに
きてねー!!



場所 松山総合公園内、考古館裏の山
営業時間 開催日時はHPをご覧ください。



場所 松山市住吉2丁目2-20 旧濱田医院1階
営業時間 水曜日から土曜日までは15:30~18:00
日曜日は10:00~18:00



場所 松山市別府町454-1
営業時間 毎週火~金 15:00~17:30
(夏期・年末年始休み)

編集後記

よっしーの外遊び推進子育てもあと2年で終わりを告げようとしています。(4人目の子どもが高校卒業します。)勉強が嫌なら無理にやらなくてもいい!部活も嫌ならまじめにやらなくてもいいからしっかり外で遊ぼうを基本理念に掲げ我が家の4人の子どもは育ちました。長女は東京の世田谷で保育士として6年目、長男は東京の秋葉原でITベンチャー企業でプログラマーとして2年目、下の2人ももうすぐ大学へ行くんだと思います。勉強しなさいなどということはほとんど言ったことがないですが、子どもはそれなりに人生の展望をイメージし勉強をします。なかなか信じてもらえませんが、人間としての生きる本能が呼び覚まされれば自然と学びの必要性を実感して勉強はするんだろうと思っています。だから自然体験と外遊びを勧めるにはそれなりの理由があるわけです。ということで、今回は冊子を読んでくださってありがとうございます。これからも愛媛の自然と子どもたちを繋ぎ、さらなる可能性を模索しながら頑張っていきます!

NPO法人みんなダイス丰松山冒険遊び場



代表 山本良子(よっしー)